

**だれもが安心して生きることが
できる社会をめざして
～公正採用から人権の社会を展望する～**

石川県同和教育研究協議会

細木 英昭

本日の研修について

なぜ毎年？

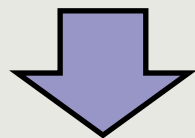
《2024年度の高校生の就職受験報告書調査から》

違反件数が0にならない（31/693事業所）

- ・ 受験者の住所や環境をたずねる（2件）
- ・ 家族構成をたずねる（7件）
- ・ 家族の職業をたずねる（7件）
- ・ 宗教や信仰に関する質問（13件）

短大卒、大卒
受験者はどう
なのか？

調査をはじめて30年、違反が0にならない



社会に巣立つ子どもたち → 違反がなくなる社会を！

違反とされた事業所数と報告書数

年度	受験事業 所数	回収報告 書数	違反件数	違反率%	指導対象 事業所数	指導対象 件数
1992年		518				
1993年		3,819	2734	71.6		
1994年		3,507	1970	56.2		
1995年		3,759	2,465	65.6		
1996年		2,768	428	15.5		
1997年		2,825	787	27.9		129
1998年		2,574	504	19.6		158
1999年		2,343	188	8		99
2000年		2,437	192	7.9		80
2001年	632	2,238	157	7		59
2002年	571	2,043	161	7.9		90
2003年	538	2,247	185	8.2		93
2004年	624	2,202	280	12.7	135	135
2005年	693	2,022	204	10.1	83	91
2006年	688	2,133	171	8	64	66
2007年	699	2,148	176	8.2	54	55
2008年	768	2,255	177	7.8	55	55

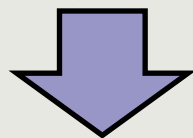
年度	受験事業 所数	回収報告 書数	違反件数	違反率%	指導対象 事業所数	指導対象 件数
2009年	766	2,537	153	6	52	52
2010年	752	2,418	139	5.7	52	52
2011年	769	2,375	150	6.3	62	63
2012年	848	2,461	144	5.9	52	55
2013年	845	2,326	133	5.7	45	48
2014年	801	2,151	134	6.2	57	57
2015年	851	2,140	137	6.4	43	46
2016年	927	2,267	134	5.9	35	38
2017年	910	2,061	120	5.8	31	37
2018年	958	2,158	122	5.7	36	40
2019年	897	2,098	113	5.4	24	28
2020年	854	1,875	111	5.9	25	33
2021年	789	1,752	80	4.6	40	40
2022年	715	1,581	80	5.1	48	34
2023年	704	1,483	90	6.1	29	31
2024年	693	1,440	94	6.5	31	34
2025年	713	1,497	82	5.5	23	25

フジテレビ「ワイドナショー」(2024年6月)

- + 2024年6月30日、フジテレビ系列の番組「ワイドナショー」で、就職差別撤廃と公正採用選考の推進を啓発する都の動画を揶揄し、公正採用選考について誤った認識を拡散する内容が放映されました。「尊敬する人物」、「家族構成」、「本籍や出生地」など就職差別につながる違反の典型的な質問事項を容認するかのよう to 解説し、弁護士までも就職差別につながる質問を擁護しました。さらに出演者らは「都が作っていることにビックリ、ホント暇なんだな」「バカみたいじゃん、こんなの」「うちの会社に来たらちょっと面倒くさいんで、アウト（不採用）にしたいけれど、ダメですよってことでしょう」など、就職差別撤廃や公正採用選考への不適切な発言が何らの配慮もなく全国に発信されました。番組の企画、制作から編集、放送に至るスタッフの無知・無理解・誤認によるものが主因ですが、番組を制作、放送した会社全体の公正採用問題についての認識の低さも要因として挙げられます。
- + その後、部落解放同盟の抗議・申し入れを受け、フジテレビは出演者への啓発、全社員対象の勉強会など人権問題についての恒常的な取り組みを進める方向性を示し、差別につながる問題質問を啓発する番組を同放送枠で放映しました。

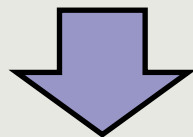
1. 自分のこと

- 38年間の中学校教員生活



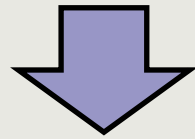
- 出あった子どもや保護者、先輩教員からたくさん
のことを学んだ。
- しんどい状況の子どもたちとの出会い。

あれた子、障害のある子、学校へ来れない子、
経済的にしんどい子、在日外国人の子…

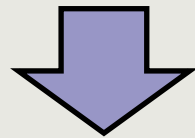


- 自分はその子達のどこに立つのか？

- いちばん変わりたいのは子ども自身かも…
- 川でおぼれかけている子どもに
川岸から傘を差し出して、「がんばれ！」



- 「しんどい子どもたちを励まし、解放する
教育を実践しよう」



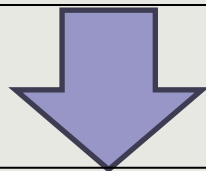
- **同和教育研究協議会**の結成
(1991年 石川県、1995年 金沢市)

本日の課題と予定

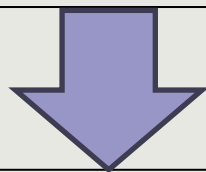
1. 公正採用の意義
2. 誰が差別をして、誰が傷つくのか
3. 出会った子どもや保護者から学んだこと
4. 誰もが安心して生活できる社会をつくるために
5. 意見交換

2. 公正採用の意義

- ・ 応募者の基本的人権の尊重
- ・ 応募者の適正・能力にもとづいた選考



- ・ 差別選考の禁止・排除



- ・ 事業所のありようを人権の視点で再検証する

▪ 過去の就職差別の反省

- 差別選考（性別、収入、家族、容姿…）
- 在日外国人の就職制限
- 障害者の欠格条項
- 被差別部落出身者への差別、等

※日本国憲法第14条

すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分または門地により、政治的、経済的または社会的関係において、差別されない

「部落地名総監」差別事件（1975年発覚）

全国の被差別部落の地名リストを
230社の企業が購入 → 差別選考

石川県内でも2社が購入していた

《労働省》※ 現厚労省

- ・ 1977年『企業内同和問題研修推進員』制度創設
- ・ 1997年『公正採用選考人権啓発推進員』に変更

→ 100人以上の事業所に設置勧奨

※石川労働局…30人以上の事業所に設置を要求

2022年 100人以上100%設置（670社）

100人未満…9.9%設置（21,759社）

2025年度は？

「あら、女学生が「彼
はめだ」「彼はいいこ
ろだ」「彼はいい仕事は
しているのか」といった
聞きされたり、スリーサ
イズを尋ねられた例もあ
った。」

その時、女子生徒が「彼はいまか」「阿藤はいつごろか」「晴通しても仕事は終わるのか」といった質問をされたり、スリーサイズを尋ねられた例もあった。

《1994年の調査から》

- 県内高校66校、3,819人のアンケートから
- 2,734人（7割を超える）に問題あり
 - 内定前に住民票・戸籍謄抄本・健康診断表の提出
 - 自宅住所の環境？、本籍（216人）？、
家族構成？、家族の職業？、
親の死亡理由・離婚理由？、
スリーサイズ？、結婚はいつ頃？、
原発問題をどう思う？、購読新聞？

入 社 志 願 書

受験
番号

受験
番号

記入上の注意

1. 必ず黒インクを使用すること
2. この入社志願書は3枚(6頁)よりなっている
3. 記入不備や3枚全部を提出しないときは退考しないことがある。
4. 自筆のこと

この入社志願書に添付して提出する書類

1. 写 真 (名刺型: 裏面に氏名、学校名を記入)
2. 学 校 推 薦 状
3. 学業成績証明書 (高校生は1年生から3年生、大学生は一般教養・専門の両方)
4. 経 歴 証 明 書

氏 名	(ふりがな)		(姓 名)		
現住所	(家族、親等の連絡に必要につき詳しくふりがなをつけること)				
	郵便番号				
家族の住所	電話(自宅・呼出し) 局 番: 自宅・親戚・下宿・寮・アパート				
	電話(自宅・呼出し) 局 番: 自宅・親戚・下宿・寮・アパート				
本籍地	学 校 ・ 学 部 ・ 学 科 名		入 学	卒 業	
	立		年 月	年 月	
	立		年 月	年 月	
	立		年 月	年 月	
出社を知った経緯(社内に友人・先輩があればその氏名)					
特に推薦紹介された人があれば その勤務先、氏名、役職名 (関係)					
職 歴	自	望	経 験 (職務内容も記入のこと)	退職理由	退職時の待遇
					基 本 給 揮 手 当 祝 込 月 収 年間総所得
賞 罰					
(具体的な内容、収入、期間を記入する)					
アルバイト					

家 族 状 況 (世帯の家族(世帯主を除く)を記入すること) 兄弟姉妹の方	続柄	氏 名	生年月日	最終学校	勤務先(役職名)	月 収	再・別居
住 居	住宅地帯	一戸建	持 家	経費数	部数数	間 取	議 評
	工場地帯	長 屋	借 家				
	商店地帯	長 屋	住宅公団				
	田舎地帯	アパート	官 公 舎				
契 機	不動産		家財・住宅・田畑・山林その他		年金・現金・株券その他有価証券		
	概算見積額 万円		概算見積額 万円		概算見積額 万円		
知 人 ・ 親 友	氏 名	年 令	職 業	勤 務 先	現 住 所		
その他	氏 名	年 令	職 業	勤 務 先	現 住 所		

履 歴 書

令和 年 月 日現在

写真をはる位置

(30×40mm)

ふりがな	
氏 名	
生年月日	昭和・平成 年 月 日生(満 歳)
ふりがな	
現住所	〒
ふりがな	
連絡先※	〒

在籍校※	令和 年 月	高等学校卒業見込み 高等学校卒業
------	--------	---------------------

職 歴 ※	平成 年 月	
	令和 年 月	
	平成 年 月	
	令和 年 月	
	平成 年 月	

(※の欄については、記入上の注意事項を確認すること)

資 格 等	取 得 年 月		資 格 等 の 名 称
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
校内外の諸活動※			
志望の動機・アピールポイント等※			
備考			

全国高等学校統一用紙(文部科学省、厚生労働省、全国高等学校長協会の協議により令和6年度改定)

なぜ公正採用にこだわるのか

- ・ 差別がもっとも顕著に表面化するするのは
→ 直接かかわりをもつ場面（**就職**、結婚）



- ・ 社会への入口…どのような形で社会にデビューするのか。
- ・ 自分が就職する事業所は人（人権）を大切にする事業所か
- ・ 差別の再生産…差別された人は差別選考を繰り返す。



人権を大切にする社会をつくる → 企業の責任は大きい

(1) 「人権」をテーマに事業所を検証する

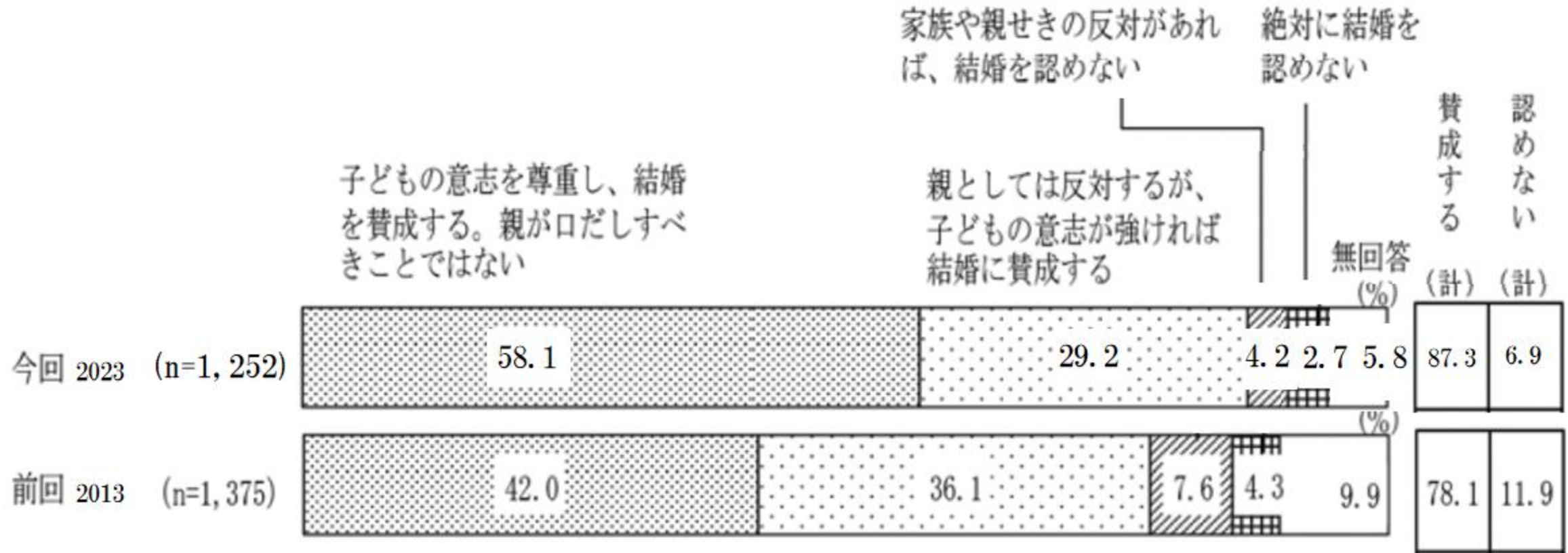
- ・ パワハラ、セクハラ等の問題に対して、相談・対応できるシステムが機能していますか。
- ・ 社会的に弱い立場の人たち（障害のある人、非正規職員等）が、精神的にも物理的にも働きやすい環境になっていますか。そういう人たちが声をあげることができる環境になっていますか。

※ 各地の「人権啓発企業連絡会」の活動

(2) 差別はどのようにしておきるのか 1

① 石川県民意識調査（2023年調査）から

【結婚に対する態度（自分の子どもが結婚するとき）】



【同和問題の解決に対する態度】

自分ではどうしようもない問題だから、
なりゆきにまかせるよりしかたがない
と思う

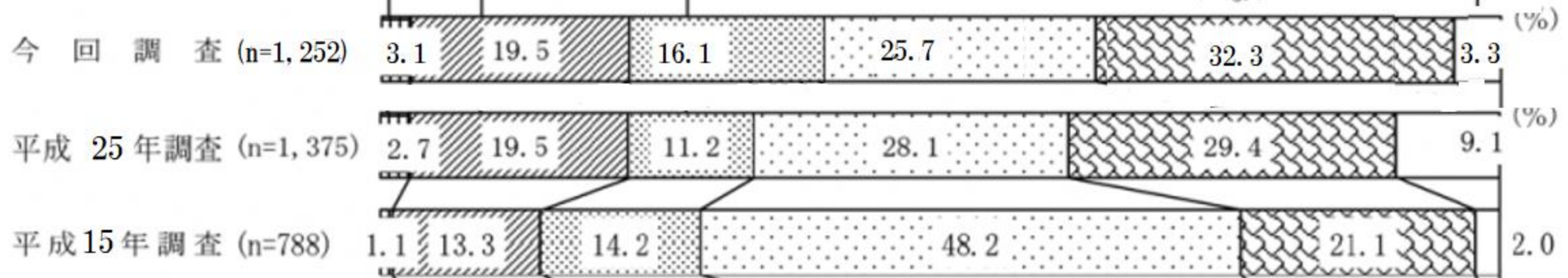
これは、同和地区出身
の人だけの問題だから、
自分とは直接関係のない
問題だと思う

自分ではどうしようもない
問題だが、誰かしかるべき
人が解決してくれると思う

基本的人権にかかわる問題
だから、自分も県民の一人
として、この問題の解決に
努力すべきだと思う

よく考えて
いない

無回答



(2) 差別はどのようにしておきるのか 2

② 私たちの問題意識は？

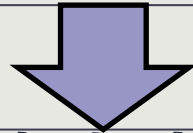
自分がかかわりがあるなあという課題は？

- ・ 女性問題
- ・ 高齢者の問題
- ・ 部落（同和）問題
- ・ 性的少数者（LGBTQ）の問題
- ・ 外国人への差別の問題
- ・ 子どもをめぐる問題
- ・ 障害のある人の問題
- ・ 感染症患者の問題
- ・ アイヌ、沖縄の人達の問題

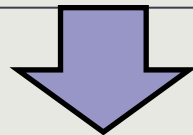
(2)差別はどのようにしておきるのか 3

③ 差別の根っこにあるもの

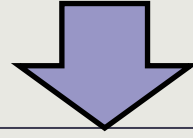
- ・ 家族や親せき、同僚、知人等で身近に問題を抱えた人がいなければ関心が薄い



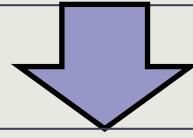
無関心、無意識、当事者意識の欠如、できたらかかわりを持ちたくない、何となく避けたい、当事者でなくてよかった…



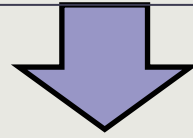
一部の心ない人たちが差別するのではなく、自分の中にあるマイナスイメージが、差別を助長する。



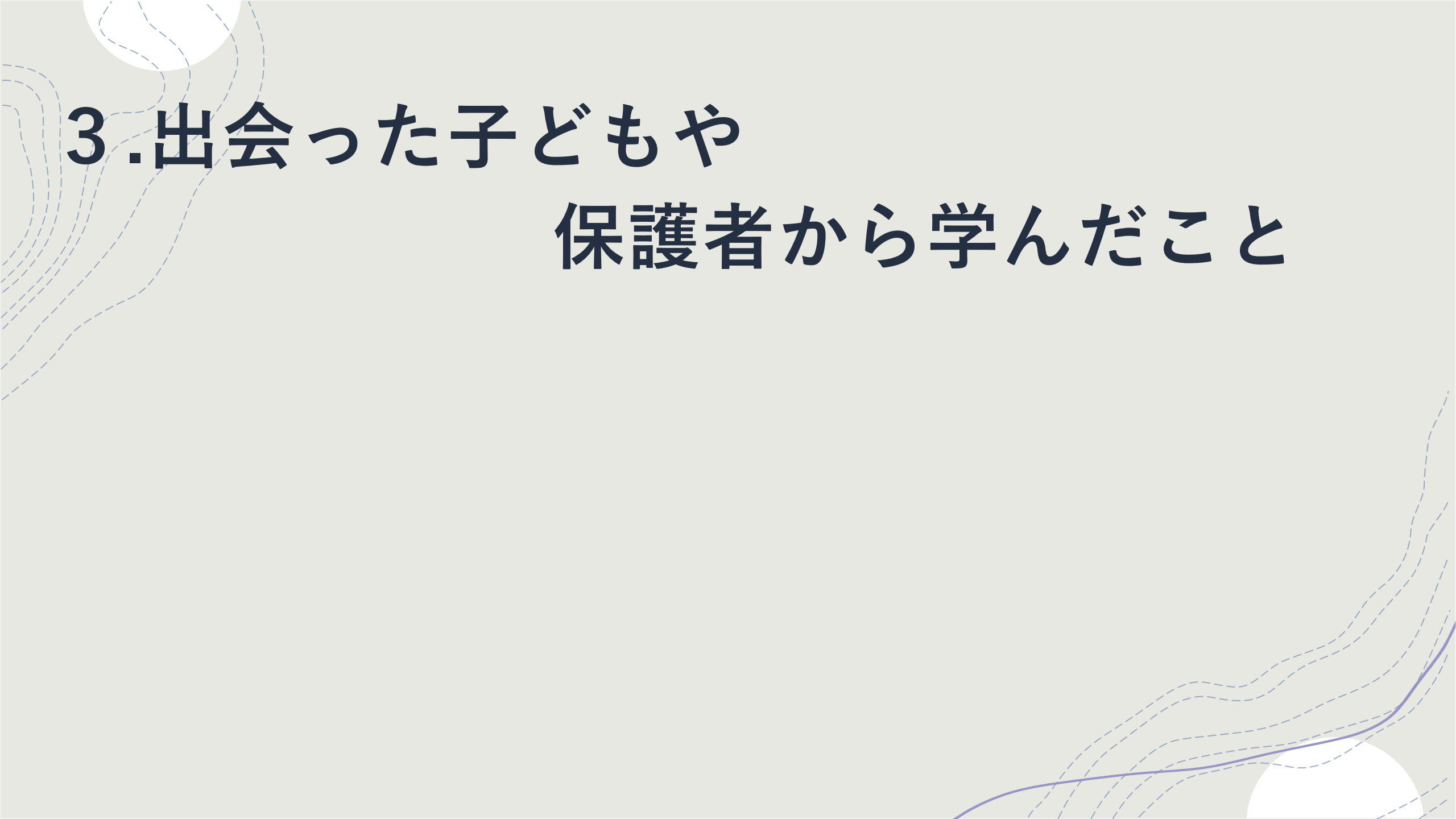
一人ひとりが自分の問題としてとらえる



自分の中にある差別的な意識、慣習、もののとらえ方、優越感、忌避意識等を問いつける



なかなか難しい作業ですが、人権が尊重される社会をつくるスタートであり、ゴールではないでしょうか



3.出会った子どもや

保護者から学んだこと

4.誰もが安心して生活できる 社会をめざして

(1)解決のむずかしさ

- ・人の心の中（意識）の問題
- ・少数者（一部の人）の問題
- ・放置してもすぐに問題がおきにくい（見えにくい）
- ・根強い「寝た子を起こすな」論
- ・声をあげにくい（自尊感情、プライバシーの問題）
- ・当事者側に立つことへのためらい

学校の「いじめ」
と似ている？

(2) 現実問題としては

いわれることは理解できるが…

- ・ 昔からの経営者の方針（事業所トップの考え方）
→ 声をあげにくい
- ・ 新規採用どころか現従業員の人権も守られていない
- ・ 余裕がない→日常の業務に追われる、業績重視
- ・ 「おかしいなぁ」と思うけど、
誰かがやってくれるだろう…、自分ではない！
- ・ 職種、雇用形態が異なる、機械、ロボット、AIの導入
→ 問題の共有化が難しい

(3) 解決の方向性として

～それぞれの事業所で形態や問題点はちがうけれど～

- ・ 事実（実態）を知る
 - 学習会への参加、
 - すすんだ事業所のようすを知る
 - 学習会、講演会資料、広報紙、チラシの回覧
 - うちの事業所にもこんないいところがある
- ・ 問題点の共有化 → **声をあげるのはあなた達です。**
 - 共有できるなかまをふやそう
- ・ 経営方針にたてつくのではなく、
「一緒に働きやすい事業所をつくりませんか？」
- ・ **弱い立場の人が生きやすい社会（事業所）**
＝ **誰もが生きやすい社会（事業所）**

(4) みんなで働きやすい職場をつくろう！

- ・ システムづくり **(明るく強い事業所をつくろう)**

- 声を上げやすい事業所
- 差別を許さない従業員の意識
- 誰もが楽しく働きやすい事業所
- 問題がおきたらきちんと対応できるシステム
- 大改革ではなく、ちょっとずつでも
- 一人で背負い込むのではなく、なかまと一緒に
- 経営者と一緒に事業所全体で取り組めたら更に

- ・ **－（マイナス）の状態** → **放置しても解決しない**

- 強い＋（プラス）の動きを継続する**

(5)めざしたい社会

- ・ **SDGs、人権や環境を配慮した事業所**
 - 関連事業所、顧客、消費者からの高評価
 - 採用希望者の増加、労働意欲の向上、生産性の向上
 - 経営状況UP
- ・ **社会全体、それぞれの場でプラスの動きを**
 - 学校、企業、公共施設、宗教関係、地域、行政
 - それぞれが有機的に連携しながら
 - 学校で勉強してきた子どもにきちんと助言できる
おとなに
 - 「人権の社会」への展望

(6) 失敗をおそれずに

- ・ 永い歴史があった→簡単には（すぐには）変わらない
- ・ 失敗から学ぶ→何が問題だったか、次はこうしよう…
- ・ 失敗や問題が起きたところから再スタート
 - 無自覚で人を差別してしまった、問題を起こしてしまったことに気づいたら、「ああ失敗した！申し訳ないことをした！すみません！」と言える人間になりたい。

変な言い訳
や言い逃れ
よりもずっと
格好いい？

そして、差別しない人間になるためにどうしたらよいかを考える人間（事業所）になりたい。

そんな社会を一緒につくっていききたい

The background is a light gray color. In the top-left corner, there is a white circle partially cut off by the edge, with several dashed blue lines flowing downwards and to the right from it. In the bottom-right corner, there is another white circle partially cut off by the edge, with several dashed blue lines flowing upwards and to the left from it. A solid dark blue line also flows from the bottom-right towards the center of the page.

まず、公正採用から

5. 質疑と意見交換